

第2学年 社会科 1年間の学習と評価について

春日部市立豊春中学校

1. 学習目標

【1学年】

(地理) それぞれの写真について知っていることをノートに書き出し、地図帳の索引を引いたり、白地図に書き込んだりするなど、地名知識を身につける手法に触れることができる。

(歴史) 中学校の歴史学習の導入として、歴史に対する興味・関心や歴史を学ぶ意欲を高めることができる。

【2学年】

(地理) さまざまな地域から成り立っている日本や世界の諸地域を、比較し関連づけて考えながら、それらの地域が相互に関係しあっていることや各地域の特殊性や共通性があることを理解することができる。

(歴史) 近世から明治時代にかけて日本の近代化の流れをつかみ、日本の文化について、理解することができる。

【3学年】

(歴史) 二度の世界大戦による厳しい戦時下の生活から現在の日本を比較して、国民としての自覚を持つことができる。

(公民) 日本国憲法の基本的原則を具体的な生活とのかかわりからとらえさせ、自由・権利と責任・義務の関係を社会生活の基本として認識することができる。

経済が社会生活と密接なかかわりを持ち、人間生活の維持・向上にとって欠かせないものであるといった経済活動の意義を身近な消費生活を通して理解することができる。

2. 年間の授業計画と学習のねらい

学年	学習内容	学習のねらい
1 学 期	【歴史】 ・近世の日本 【地理】 ・日本の地域的特色と地域区分	・戦国時代から豊臣秀吉による天下統一の流れをヨーロッパ人の来航の影響を踏まえて、年表にまとめ、発表することができる。 ・江戸幕府の幕藩体制と鎖国について、考え、当時の社会体制を考える。 ・産業や交通が著しく発達し、町人文化や地方の生活文化が形成されていった様子を、今日に残る文化財や史料などから学ぶ。 ・「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」について、日本の地域的特色を分布や地域に着目して理解する。
2 学 期	【地理】 ・地域調査の手法 ・日本の諸地域	・「自然環境」「生活と文化」「人口」「産業と資源」「地域間の結びつき」について、世界的視野から日本を一つの地域として見た日本の地域的特色と日本全体の視野から見た国内の諸地域の特徴をとらえる活動を通して、わが国の国土の特徴を学ぶ。 ・県別の統計資料を読み取る方法を習得する。また、まとめで、地図、グラフ、写真、図表などのさまざまな表現方法を活用できる。
3 学 期	【地理】 ・地域の在り方 【歴史】 ・開国と近代日本の歩み	・地形図を使って、市の地理的な概要を調べる。 ・野外調査等を行って、身近な地域の特徴を捉え、新聞等にまとめる。 ・開国から明治維新を経て近代国家が形成されていく過程を、欧米諸国の動きとのかかわりの中で学ぶ。 ・欧米文化がわが国に受け入れられたものを調べ、今の自分たちの生活に結びついているものを考える。

3. 評価の観点と方法

《主体的に社会事象についての学習に取り組む態度》

◇積極的に発表したり、意欲的に授業に取り組んでいるか。世の中の動きに関心を持っているか。ノートやワークなどの提出状況などをみていきます。また場合によっては、テストにてこの観点の出題をすることがあります（最近の時事など）。

《社会的な思考・判断・表現》

◇なぜそうなるのか、どのようなことが考えられるのかなど、社会のことについて、さまざまな視点から考えることができるか。ノートの内容などをみていきます。また、テストにてこの観点の出題をします。

《社会事象についての知識・資料活用の技能》

◇地図やグラフ、歴史資料、新聞など資料の読み取りができるか。新聞やレポートなどのまとめ方や発表のやり方はどうかなどをみていきます。また、テストにてこの観点の出題をします。

◇小テストや中間・期末テストにて判断します。この観点の出題をテストでは多くします。